

心をこめて植える 田植え体験 国見小学校農業体験学習

国見小学校5年生の児童たちは5月13日、農業体験学習の一環として田植えを行いました。

当日は、小坂アグリ株式会社や県北農林事務所伊達普及所、JAふくしま未来国見営農センターの協力のもと、児童たちは農業の大変さなどを肌で感じ、ひとつひとつの天のつぶの苗を丁寧に植えていました。秋には育った苗の稲刈り体験が予定されています。



丁寧に田植えする児童たち

地域みんなで考える 認定こども園 第1回認定こども園設置検討委員会

第1回認定こども園設置検討委員会を5月14日、観月台文化センターで開催しました。

委員会は、認定こども園の基本構想の策定を目的として、有識者や保護者、子育て関係者など14名で構成され、委員長には福島学院大学こども学科二谷京子准教授が選出されました。今後、委員会において、認定こども園設置に向けた検討を進めていきます。



認定こども園設置検討委員会の様子

白球に込めた 子どもたちにエール 国見ドリームクラブ ボール贈呈式

国見ドリームクラブは5月17日、徳江グラウンドで国見ソフトボールスポーツ少年団と県北スターズスポーツ少年団へボールを贈呈しました。国見ドリームクラブは、公共施設の清掃活動など地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。今回は、地元で頑張る子どもたちを応援したいとの思いから贈呈が行われ、子どもたちは笑顔でボールを受け取っていました。



ボール贈呈式の様子

暮らしを支える税金の役割を学ぶ 租税教室を開催

租税教室が5月21日、国見小学校で開催され、6年生の児童たちが税金の役割や大切さについて学びました。町税務課の職員が講師を務め、税金の使い道や暮らしとの関わりを分かりやすく説明しました。会場では1億円分の紙幣見本も披露され、児童たちは「重い!」と驚きながら、税を身近に感じ理解を深めていました。



1億円の紙幣見本を手にする児童



表彰を受けた優秀出荷組合員の皆さん

丹精込めた特産物が地域を元気に 道の駅出荷組合 優秀組合員表彰

国見町道の駅出荷組合の総会が4月15日、観月台文化センターで開催されました。道の駅国見 あつかしの郷へ農産物や加工品などを出荷する生産者・団体のうち、令和7年度の販売実績が優秀だった出荷者を表彰しました。

直売所「くにみ市場」の令和7年度売上額は8億5,349万円となり、昨年度の過去最高額を大きく更新しました。



新たな屯所の前で記念撮影する関係者の皆さん

消防団を支える新屯所完成 第4分団第2部 川内消防屯所落成式

川内消防屯所建築落成式が4月19日、川内集会所で行われました。老朽化していた消防屯所と川内水防倉庫に代わり、屯所と水防倉庫を一体化した新たな屯所が完成しました。落成式後の内覧会では、消防団員ら参加者が施設内を見学し、新たな拠点の完成に、地域防災への決意を強くしていました。



行政相談の事例を紹介する町行政相談員

身近な相談から学ぶ 行政の役割 行政相談出前授業を開催

行政相談出前授業が4月28日、国見小学校で行われ、国見小学校6年生の児童たちが行政の仕組みについて学びました。福島行政監視行政相談センターの職員が行政相談員の役割などを説明しました。その後、町の行政相談員である佐藤由美さんが実際の相談事例を紹介し、児童たちはクイズを交えながら理解を深めていました。



安全を確認して道路を横断する園児

手をあげて、みんなで学ぶ交通安全 交通安全教室を開催

交通安全教室が5月11日、くにみ幼稚園で開かれました。福島北警察署桑折分庁舎と交通安全母の会の協力のもと、園児たちは信号機の見方や横断歩道の渡り方を学びました。年少組は園内で道路の歩き方を練習し、年中・年長組は実際に道路へ出て、交通安全母の会の皆さんに見守られながら一緒に歩道の歩き方や安全な横断方法を実践し理解を深めました。